



せせらぎの森 かんさつノート

イオンモール伊丹昆陽

Let's

グリーン・ウォッチング!

Green Watching



植物はうごかないからつまらない?
そんなことはありません。
草も木も季節によって、いろんなことをしています。
植物の世界をのぞいてみませんか?
いつものお散歩やお買い物に、
楽しみがちょっとふえますよ。

ここでは「せせらぎの森」で見ることができるおすすめの木を6種類、紹介します。
どれも身近な木なので、お家の近くや公園でも出会えるかも。

いつもの小道、
素通りなんて
もったいない!



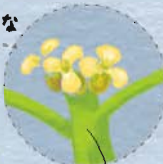
コナラ

どんぐりがたくさんなる木。
花がさいた後に小さなどんぐりがなり、
夏の間にぐんぐん大きくなる。
秋には黄色やオレンジ色の葉がきれい。

春 4月

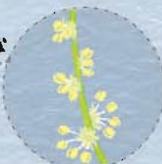
のび始めの若い葉はとてもきれい。
目立たない小さな花が咲く。

めばな



枝の先っぽに
数個つく。
とても小さい。

おばな



たくさん
たねさがす。

夏

5~8月

めばなの後に
小さなどんぐりができる。

6月

どんぐりの赤ちやん



7月

おわんの中で
ぐんぐん大きくなる



9月

おわんからはみ出して
まだまだ大きくなる



秋

9~10月

どんぐりが成長して
茶色くなる。

「どんぐり」



● 春になると芽を出す。
どんぐりの中には、葉や根が
成長するための栄養がたっぷり。

● だから、動物も
どんぐりが大好き



● 虫もどんぐりが大好き

どんぐりに
穴をあけて
卵をうむ



ハイイロチョッキリ

冬

冬芽を残して、
葉が落ちる。

冬芽はうろこみたい

ふゆめ

「冬芽」...

次の年に出てくる
新しい花や葉は
この中でじっと春を待っている。

外に出たら
土にもぐって
サナギになるよ

コブシ

春 3~4月
花がさく。

春が来たことを知らせてくれる花。
ゴツゴツの実や、フワフワの
冬芽もおもしろい！

いい香り…

花と一緒に、1枚だけ
葉っぱが出る。

夏 6~8月

うすみどり色の
実がふくらむ。

にぎりこぶしみたいな、
ゴツゴツした実→“コブシ”
という名前に。

秋 9~10月

実がピンクに色づく。

冬

冬芽を残して、
葉が落ちる。

花が出る芽。
大きくてフワフワ！

葉が出る芽は
小さめ。

熟すと中からまっ赤な
タネがとびだす。

やっぴみょう！

しと粒つまんて
そっとひっぱると
赤が出てブラブラ
おち下がるよ。

カラスの
たべもの。

エゴノキ

春 4月

新しい葉が出る。

葉と一緒に
つぼみも出てくる。

初夏 5~6月
花がさく。

ハチがミツを
集めに来る。

はちみつを
とるよ。

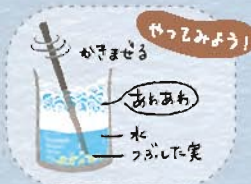
つりさがる花は
あまい香り

夏 8~9月

うすみどり色の実がふくらむ。

かわいい形の实

音は石けんとして使ったよ



秋 10~11月

実がわれて
茶色いタネが
ごんにちは。

冬

冬芽を残して、葉が落ちる。

冬芽は大小2つづつ
セットになって兄弟みたい。

枝に残るものも
地面に落ちる
ものもある。

ヤマボウシ

春 4月 おわりごろ

新しい葉とつぼみが出てくる。

初夏の花は、まっ白なハンカチを広げたよう。
秋にはあまくて赤い、大きな実が目立つ。

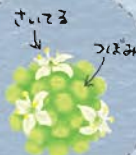
初夏 5~6月

花が上向きにさく。

ちらっとのやつく
つぼみ

花びらに見えるが、
これは葉が変形したもの

本当の花は真ん中の
丸いふつふの部分。
たくさんの小さな花が
集まっている。



秋 9~10月

たくさん実がくっついて
ひとつの大きな実になる。

よく目立つ赤い実。
中はトロツとしてあまい

中にはたくさんの
タネが入っている。

冬

冬芽を残して、葉が落ちる。

葉が出る芽

花と葉、両方出る芽。
たまねぎみたいな形

夏 7月

花がさく。

おぼな
めばな
花がさく
ころりん

ナンキンハゼ

昔、ろうそくのロウをとるため
中国から持ってきた木。
秋にいろんな色にそまる葉が
とってもきれい。

秋 10~11月

熟した実がわれる。
中から白いタネ。

7月 おわりごろ

実がふくらむ

タネの白い部分から
ろうそくが作れる。

あざやかな色!

春 3~4月

花と葉と一緒に出る

のび始めの
葉は赤っぽい

ヤマザクラ

“サクラ”には色々な種類がある。
これは野山に自然に育つ種類。
花の後にはサクランボがたくさ
んなる。

初夏 5~6月

実がなる。
熟すと黒っぽい。

秋 11~12月

葉が色づく。
落ち葉もきれい。

鳥の大好物。
人も食べられるが
少しにがい。

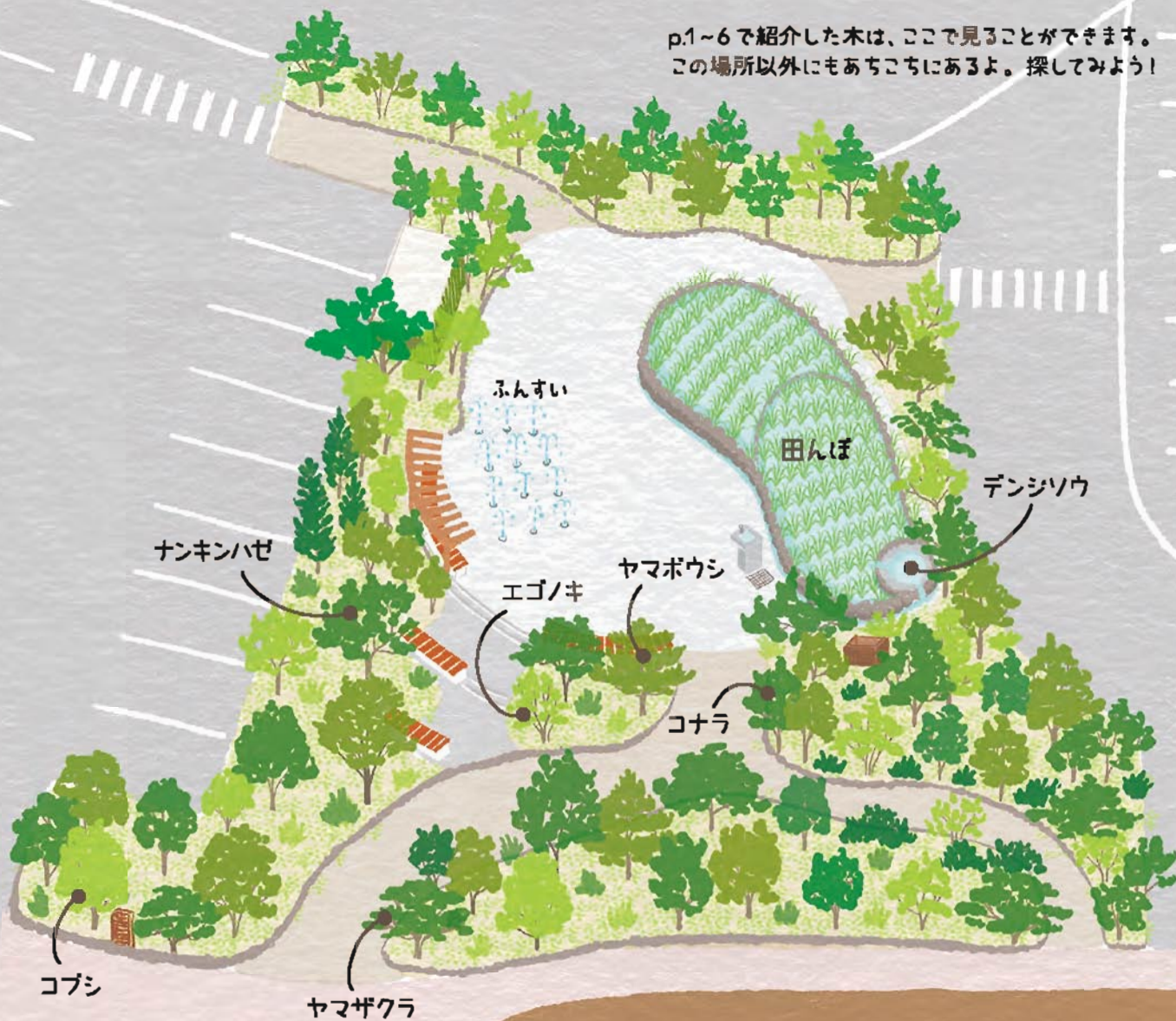
Green Watching Bingo!

○



せせらぎの 森マップ

p.1~6で紹介した木は、ここで見ることができます。
この場所以外にもあちこちにあるよ。探してみよう！



イオンモール伊丹昆陽 館内

光の広場 出入口

楽しく学ぼう! 植物 のこと、自然のこと



私たちは植物のおかげで生きている

私たち動物は、食べ物を食べることで生きていますが、その食べ物はほとんどが(肉や魚も)植物が作り出した栄養が元になっています。

また、生き物が呼吸するのに欠かせない酸素も、植物が作り出しています。

つまり、私たちは植物のおかげで生きているのです。



もう一つ、植物の大きな役割は、生き物のすみかとなることです。

私たちのすぐそばに、こんなにもたくさんの生き物が暮らしているのは、都会や住宅にも植物があるからです。

自然はどこか遠くの観光地に出かけなければ見られないものではなく、私たちの暮らしのすぐそばにあるものです。



・・・しかし今、私たちは植物のことをよく知らないままに、色々な問題をひき起こしています。

まずは、人々が身近な自然に目を向けること、異変に気がつくこと、問題の解決は、そこから始まります。

・・・そのために、イオンモール伊丹昆陽ができること

イオンモール伊丹昆陽では一年を通して、主に植物や昆虫について学べたり、体験できたりする

「いきものまなびイベント」
を開催しています。

身近な生き物の存在に気がつくこと、興味を持つことは、毎日の暮らしに発見や驚き、感動をもたらします。



↑せせらぎの森の田んぼで稲作体験



↑バタフライガーデンの植え替え



↑伊丹市昆虫館特別展



デンジソウ

田植え(5月) ●
稲刈り(10月)
脱穀(10月)

●
バタフライガーデン
植替えイベント(春・秋)

●
伊丹市昆虫館
トークショー(夏)

●
伊丹市昆虫館特別展
(不定期)

●
せせらぎの森 植物観察会
「グリーンウォッチング」
(不定期)

●
デンジソウ*の育成
*絶滅危惧II類(VU)
(環境省レッドリスト)

※自然のことをはじめ、地球上の色々な問題の解決のために、世界中の人々が話し合って決めた目標のことをSDGsと言います。(→くわしくは裏表紙へ)

観察会で教わったことや、
自分で気がついたことを
メモしておこう



SDGs(エスディーゼズ)って何だろう？

今、私たちが暮らす地球では、食しさや争い、気候の急激な変化、感染症といった数多くの問題が起っています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまいます。そのため、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、問題を解決していくための具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。SDGsは私たち一人ひとりが「自分ごと」として取り組まなければ達成できません。

*参考「公益財団法人ユニセフ協会HP」

イオンモールは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。
今回の取組が該当する開発目標は、下記の通りです。



「いきものまなびイベント」講師陣の紹介

田中 良尚氏

伊丹市昆虫館トークショー
バタフライガーデン植替イベント

伊丹市昆虫館学芸員・樹木医。2021年に世界自然遺産に登録された奄美大島・沖縄に生息する日本産マルバネクワガタ類およびヤンバルテナガコガネの保全のため、生息状況の調査や生息の解明に携わる。また同館で生育域外保全されているフチトリゲンゴロウやフサヒゲルリカミキリの飼育も担当。「くちべてわかる甲虫1062種」(山と溪谷社)など、昆虫関係書への執筆・画像提供は多数。



鈴木 純氏

せせらぎの森植物観察会

植物観察家・植物生態写真家。東京農業大学で造園学を学んだのち、青年海外協力隊に参加。中国で2年間砂漠緑化活動に従事。帰国後、日本各地に残る自然を訪ね歩き、フリーの植物ガイドとして独立。徒歩10分の道のりを100分かけて歩く観察会を中心に、保育の現場や企業とのSDGsへの取り組みの協力など幅広く活動。著書に「そんなふうに生きていたのね まちの植物のせかい」(賀島社)など。

